



カリオン

carillon

Vol.
24
2014.10



発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 佐藤四三
編集責任者 事務部長 船曳健次
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX 079-299-0052(直通)

TOPIC

クラスⅢ 授業参観



外国語の授業では、外国人が来院したときどのように接すればよいか、英語を用いてロールプレイをしてイメージできるようになっています。その中で、学生は英語でのやり取りの難しさを感じながらも、相手に伝えようと一生懸命に取り組んでいました。外国语試験の英語劇では学生全員が協力し合い、英語で楽しく、おもしろいシナリオを作成しており、試験であることを忘れてしまいそうになるほどでした。保護者の方にも、学生のいきいきとした姿を見て頂けたのではないかと思います。外国语の授業を通して、異文化に触れながら、学生の世界観が広がればと思っています。

(教務助手：谷口 真紀)

後期行事予定(平成26年10月～平成27年3月)

10月	1日(水) 後期授業開始 9日(木) クラスⅠ・Ⅱ トレーニングセンター 22日(水) クラスⅢ発表・クラスⅡ聴講 関西看護学生看護研究大会 24日(金) クラスⅠ 戴帽式	1月	21日(水)・22日(木) 平成27年度一般入学試験 26日(月)～2月10日(火) クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅱ
11月	8日(土) 平成27年度社会人入学試験	2月	16日(月)～ クラスⅡ 領域別実習開始 22日(日) 第104回看護師国家試験
12月	25日(木)～1月6日(火) 全クラス 冬季休業	3月	4日(水) 卒業を祝う会 6日(金) クラスⅢ 卒業式 20日(金)～4月3日(金) 春季休業 25日(水) 国家試験合格発表



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の視点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践とともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。



オープンキャンパス（8月3日）

未来の看護師大集合！

トライやるウィークは中学2年生、ふれあい看護体験は高校生が、オープンキャンパスは受験希望者が参加してくれました。たくさんの方が看護学校に来てくださいり、賑やかで活気あふれるひとときになりました。興味深い眼差しで教材に触れたり、在校生とランチタイムを楽しんだりしました。皆さんの中から、1人でも多くの方が看護師を目指してくれることを期待しています。

トライやるウィーク
(6月2日～6日・6月9日～13日)



ふれあい看護体験
(7月31日・8月1日)



クラスII
学びの多かった

本社研修

平成26年
7月5日・6日



研修では、全国の赤十字看護専門学校の学生が集まり、講演を聞いたり、学生交流を行いました。学生交流では、「赤十字の一員として今私達にできること、大切にしたいこと」について意見交換を行いました。私達は、学生交流に向けて話し合いを重ね準備をしていました。自分の考えや意思を伝え、同じ赤十字の学生から意見を聞けたことは貴重な時間でとても充実していました。感じたことを学んだことをこれから的生活に活かしていくこうと思いました。また、レクリエーションとして東京観光を楽しみました。クラス全員で食事をしたり、観光地を巡り、充実した3泊4日になりました。

(クラスII)

全国の赤十字の看護学生たちと、本社研修に向けて話しあってきた赤十字について、意見交換を行ったり交流したりしました。また、本社の方や看護師からの講演があり、赤十字の理念や看護についてより深く理解することができ、自分の看護観にも繋がったと思います。(クラスII)



白熱した!

球技大会

平成26年9月5日(金)



私は、5月下旬頃より病棟の指導者さんへ招待状を渡すための準備をはじめました。一枚一枚汚れやしづなどがないか注意し、手作りしていくことは大変でしたが、仲間の協力のおかげで完成させることができました。今、球技大会を終えて仕事をやりきったことへの達成感や仲間へ感謝の気持ちでいっぱいです。今回の球技大会が参加者の笑顔につながったことに何より喜びを感じました。(クラスII)



私はバドミントンに参加して久しぶりに運動して良い汗をかきました。出場している人だけでなく、応援している人も全員がいっしょになって盛り上がって、思い出に残る一日となりました。親睦試合の盛り上がりは忘れられません。また、この日のために一生懸命準備してくださった球技大会委員のみなさんありがとうございました。(クラスII)



球技大会は、日頃のストレス発散にもなったし、とても楽しかったです。皆笑顔で、計画してくれた球技大会委員のおかげだと思いました。夢中になりすぎて筋肉痛になり日頃の運動不足を痛感しました。(クラスI)



Summer Vacation

～2014～



私は、この夏休みにカナダのサスカトゥーンという都市に10泊しました。高校時代に仲が良かった留学生の友人のシェアハウスにお世話になりました。音楽フェスティバルやキャンプにも連れて行ってもらい、たくさんの親切なカナダの人達と交流することができました。

(クラス I)

この夏、私は大蔵海岸でバーベキューをしました。天気予報ではずっと雨の予報でしたが、当日はそれが嘘のように晴れてくれました。みんなで食材を買いに行って、焼き肉だけでなく、焼きそばや豚キムチを作ったりしてとても美味しかったです。すごく楽しいひと夏の思い出ができました。また来年も行きたいです。

(クラス I)



今年の夏、中学の修学旅行でお世話になった鹿児島のお宅に4年ぶりにいってきました。宿泊させて頂き、その家のポニーちゃんに乗りました。海釣りをして、観光地巡りをして、おいしいものをいっぱい食べて、良い経験がたくさんできて良かったです。

(クラス I)



一人暮らしをはじめて2度目の夏休み。普段は友人に囲まれて楽しく過ごしていますが、実家が恋しすぎるあまり、気付けば毎週帰省。どんな時も優しく見守ってくれる両親、頼りになる兄姉、笑顔いっぱいのかわいすぎる甥に囲まれ、家族という幸せを実感しました。これからも家族との時間を大切にしたいです。

(クラス II)





久々にみる田舎の風景に日
頃のストレスが発散されました。今回は20歳の誕生日を家族とともに
かえ、盛大なお祝いをしてもらいとても嬉しかったです。帰省して改めて親のあ
りがたみを感じました。気持ちもリフレッシュされたので、これから勉学には
げんでいきたいです。
(クラス II)

私は夏休み
にバーベキューをしたり、ひ
まわり畠に行ったりして、いい色に
肌も焼け、夏を満喫しました。県外に
行ってしまった友達が久しぶりに帰省し、
会えて嬉しかったです。とてもリフレッ
シュできた夏休みでした。
(クラス II)



夏休みに三重県
に行ってきました。1日目は、子どもが
日本のお城100城スタンプを集めていることもあ
り、松坂城と伊賀上野城の2つのお城に行き無事スタ
ンプを押せました。伊勢神宮に参拝しましたが、参拝者
の数に驚きました。2日目は、鳥羽水族館に行き、ア
ザラシやスナメリなどの海洋生物を見て可愛さに
癒されました。
(クラス II)



今年の夏休みは、東京
アカデミーのセミナーを受講しました。講義だけでは
ぼ一日が終わってしまいます。内容はわかりやすく効率よく
勉強でき、印象的なゴロを紹介してくれるので覚えやすく、行つ
て良かったと感じています。
(クラス III)



この夏、一歳になっ
た息子に生き物を見せてあげたくて、家族で兵
庫県北部の水族館へ行ってきました。泳いでいる魚やペ
ンギン、イルカを初めて見た息子は自分が気になるものをずっと
指でさしていてとても楽しそうでした。私は、その楽しそうな姿
を見れたことがとても嬉しく、大切な思い出の一つになりました。
(クラス III)

トレーニングセンター +

平成26年10月9日(木)、宍粟市生涯学習センター学遊館において、災害看護論と災害医療論の演習でトレーニングセンターを実施しました。兵庫県支部の職員や病院職員の指導協力のもと、午前中は基礎行動訓練と救護資機材の取扱いを学び、午後は地震災害を想定した災害救護訓練をおこないました。救護訓練では1年生が傷病者役を体験し、2年生は赤十字救護班として傷病者の救護にあたりました。学生たちは被災者の理解とともに、メンバー間の協力体制や連携の必要性についても学びました。 (専任教師: 中林 朝香)



カリオン歴史シリーズ

「赤十字奉仕シリーズ」

赤十字奉仕シリーズは、昭和32年から昭和44年にかけて日本赤十字社が10冊発行しています。写真中央の「赤十字奉仕シリーズ3」には、連続テレビ小説「花子とアン」の主人公で、「赤毛のアン」の翻訳者である村岡花子さんの「社会生活と奉仕」という文章が掲載されています。

村岡さんは、英語力と奉仕の精神を持ち合わせ、日本赤十字社の嘱託として、赤十字奉仕団の創設に関わり、赤十字奉仕団の指導者を育成する講演や寄稿に尽力されました。 (副校長: 柳めぐみ)



講師紹介

医療法人 山伍会 播磨大塩病院 看護師 認知症ケア専門士

國永 貴裕

私は、精神科病院で勤務して約20年になります。昨年度より、「精神に障害を持つ人の生活と看護」を担当しています。

近年、多くの災害に見舞われる日々の中、「心のケア」は障がいの有無を問わず求められる時代に今あると思います。学生のみなさんは、こうしたニーズに則したケアや患者さんの心に『笑顔を届ける看護』を授業で提供できるよう努めていきたいと思っています。



姫路赤十字病院 検査技術部 検体第二係長

永谷 達也

「臨床生化学」担当の永谷達也です。普段は、病院の検査室で生化学・免疫の検査を担当しています。

わたし達の身体は、今、この瞬間も呼吸や食事により摂取したものから生命の維持に必要な物質を作り出しています。健康な身体の仕組みを知ることが、病気を知ることにもつながっています。普段の生活中にある小さな生化学から、一緒に学んでいきましょう。



姫路赤十字病院 NICU師長 下田 明美

外国语3・4を担当し、2・3年生に医療英語を教えています。

元気のよい学生が多く、期末試験の英語劇ではパフォーマンスの高さにいつも驚かされています。私自身、オーストラリアの病院で研修した経験から、言語や異文化を学ぶことは、自分自身の世界を広げ、可能性を伸ばすことにつながると感じています。講義を通して、少しでも学生の皆さんの世界が広がることを願っています。



病棟紹介 産婦人科・小児科

4階東病棟は産婦人科・小児科の病棟です。4階東病棟は外来と連携しており、外来での診察介助をはじめ、入院から退院まで、継続して患者さんに関わるようにしています。婦人科では良性、悪性に関わらず手術を受けられる患者さんがたくさんいらっしゃいます。また産科では出産だけでなく、女性としてつらい選択を迫られる場面に立ち会うこともあります。どのような時も患者さんに寄り添ったケアを心がけています。

女性と赤ちゃんにやさしい病棟をめざし、一緒により良い看護を行っていきましょう。（姫路赤十字病院 4階東病棟師長：世良 優子）



演習を振り返って



I

特別講義：魚の解剖

初めは解剖することに抵抗を感じ、周りからも魚に対して「ごめんな」という声が聞こえてきました。しかし、最終的には内臓を取り出したり、自ら取り組むことで、身体の各器官の解剖や仕組みについて理解を深めることができました。

(クラスⅠ)

「在宅における看護技術」演習

(株)帝人の協力を得て、在宅酸素療法について演習しました。私は初めて実際に経鼻カニューレや酸素マスクを着用しました。着けた時の違和感や不快感を体験し、実際に使用されている方の気持ちを理解することができました。訪問看護師はこのような療養者の苦痛の緩和に努める必要もあると考えました。



II

ケーススタディ発表

9月1日(月)、3会場にわかつてケーススタディの発表を行いました。臨床の指導者さんも参加してくださり、下級生も聴講しました。

ケーススタディをまとめるにあたり、多くの文献を読むことで根拠に基づいて看護を振り返ることができました。また、自分自身を振り返ることにもなり、自己理解を深めることができました。

(クラスⅢ)



III

平成27年度 一般入学試験のお知らせ

試験日程：平成27年1月21日(水)・22日(木)

願書受付：平成26年12月15日(月)～平成27年1月8日(木)

詳しくは学校ホームページをご覧ください。

<http://himeji.jrc.or.jp/school/>

季節の花々 「ヒガンバナ」



彼岸花(別名 曼珠沙華)^{まんじゅしゃげ}は、秋のお彼岸が近づくと田の畔や道端に咲く。真っ赤な花は気温が18~20℃になると一斉に咲き始めるところから、秋の種まきの目安にされたとのことです。(花言葉 花贈り 池田書店より引用)

(専任教師：名村 かよみ)

編 集 後 記

秋の訪れとともに、1・2年生は前期試験、3年生は院外の実習が始まった。秋は実りの季節である。花が咲いた後には実を結ぶように、今までの学習が1日も早く実を結ぶようにと祈るばかりである。水や光や栄養はもう十分もらって、しっかりと根を張ることはできているはず。学生にとっても実りの秋になりますように。

(専任教師：名村 かよみ)

